

1 施設概要

施設名	高知市東部総合運動場		施設所管課	スポーツ振興課				
指定管理者名	高知市スポーツ振興事業団グループ							
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日		公募・指名の別	公募				
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る。 市民の健全なスポーツ、レクリエーション及び健康増進に寄与するため。							
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施 4. 学校体育施設開放事業に関すること(利用券販売・利用申込み受付)							
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的グラウンド ・体育センター ・野球場 ・投球・打撃練習場 ・テニスコート(16面) ・多目的ドーム(ドーム・会議室) ・くろおアリーナ(25m温水プール、幼児プール、ジャグジー、50mプール、トレーニング室、ランニング走路、会議室) ・駐車場、緑地公園 							
職員体制	常勤職員	11人	非常勤職員	0人	契約社員	9人	合計	40人
	パート職員	0人	アルバイト	20人	その他	0人		

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	令和 5 年度 (1 年目)		令和 6 年度 (2 年目)		令和 7 年度 (3 年目)		令和 8 年度 (4 年目)		令和 9 年度 (5 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
事業参加者満足度(点)	3.60	3.67	3.60	3.68	3.60		3.60		3.60	
施設利用者満足度(点)	2.85	3.30	2.85	3.53	2.90		2.90		2.95	
事業参加者数(人)	4,680	5,118	4,680	5,582	4,780		4,780		4,880	
施設利用者数(人)	280,000	287,051	282,500	261,353	285,000		287,500		290,000	
施設利用率(パーセント)	30.50 %	33.32 %	31.00 %	36.54 %	31.50 %	%	32.00 %	%	32.50 %	%
施設使用料収支率(パーセント)	18.00 %	19.83 %	18.50 %	18.46 %	19.00 %	%	19.50 %	%	20.00 %	%
目標値に対する達成状況について	<p>事業参加者満足度:アンケートによるもの。対応の親切さの項目が3.70と特に高く全体の目標達成につながった。 事業参加者数:コロナ5類移行後は定員を可能な限り戻し新規事業を追加したことで目標達成できた。 施設利用者満足度:全項目で3.0以上、平均では3.3となり目標値を達成。 施設利用者数:インターハイ実施の昨年度を上回る利用で目標値を達成。 施設利用率:体育センターや多目的ドームで高い利用率を記録し目標値達成。 施設使用料収支率:収入が700万超増加。各経費高騰で支出増も目標値を達成した。</p> <p>事業参加者満足度:対象3項目で全て3.65を超えたことが目標達成につながった。 事業参加者数:事業全体への参加者が増加したことで目標達成につながった。 施設利用者満足度:全項目で3.0以上。施設や設備・備品の項目は前年度より数値が上昇し目標を達成した。 施設利用率:昨年度を大きく上回る数値を記録し目標達成。野球関連施設やくろおアリーナの伸びが目立った。 施設使用料収支率:3施設が長期工事休業した影響で利用料収入が前年度の約90.8%にとどまったが、営業再開後の収入及び他施設の収入によりほぼ目標値を達成した。</p>									

※施設使用料収支率:利用料金収入÷支出総額

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)	
	利用者数	287,051 人	261,353 人	人	人	人
利用者数:対前年度比	102.9 %	91.0 %	0.0 %	- %	- %	
開館日数	360 日	359 日	日	日	日	
利用率	野球場	39.64 %	43.95 %	%	%	%
	多目的グラウンド	27.47 %	29.63 %	%	%	%
	打撃練習場	24.52 %	33.93 %	%	%	%
	投球練習場	15.03 %	22.06 %	%	%	%
	テニスコート	32.80 %	32.04 %	%	%	%
	体育センター	80.27 %	79.49 %	%	%	%
	多目的ドーム	65.19 %	62.36 %	%	%	%
	多目的ドーム会議室	15.25 %	5.51 %	%	%	%
	アリーナ体育館	45.09 %	49.41 %	%	%	%
会議室	21.23 %	16.56 %	%	%	%	
利用状況についての評価	<p>利用者数:コロナによる大会等の中止は無く、野球関連の四施設は部活動の部員減少による利用低下等で利用者数が低下したが、一方で他の施設は前年度にインターハイで利用が急増したプールと会議室を除く施設が前年度比で利用増を記録。くろしおアリーナ体育館は前年度比約1.5倍増を記録した。前年度にはインターハイで17,000人超の利用者を記録したものの、他の月では利用者が大きく増加し、年間合計利用者は前年度を上回り目標値を達成した。</p> <p>利用率:野球関連施設は利用減により、テニスコートや会議室は前年度にインターハイで使用した反動でそれぞれ低下したが、同大会で1か月ほど使用した多目的ドームは利用率が上昇しており、順調に増加傾向で推移している。</p>		<p>利用者数:25mプールが8/5~11/10まで、打撃練習場が5/13~1/6まで、投球練習場が5/13~11/3までで工事により休業した。工事期間内の前年度利用者数との比較ではプールが17,356人減、打撃練習場が4,838人減、投球練習場が2,312人減となり、工実施期間の利用者減は三施設合計24,506人にのぼった。一方で工事期間を除いた全施設の利用者合計は547人の増加を記録した。工事による利用者離れを最低限に抑えられ、他施設の利用増につなげられた。</p> <p>利用率:全施設合計では36.54%を記録し目標を達成できた。多目的ドーム会議室とくろしおアリーナ会議室は数字を大きく下げたように見えるが、大会の控え場所等主用途で年間使用総数が他施設よりかなり少ないため、合宿等で長期に使用された前年度より数値が下がった。他施設は増加もしくはほぼ増減なく、順調に利用された。</p>			

※ 利用率の算定方法: 利用率=使用数÷使用可能数

仮にテニスコートの場合、実際の使用数(各コートごとの使用時間)を使用可能数(コート面数×1日の使用可能時間×日数)で除いた数が利用率となる。

※ 令和4年度実績: 利用者数279,061人、利用者数:対前年度比126.1%、開館日数359日、野球場47.28%、多目的グラウンド31.67%、打撃練習場26.48%、投球練習場13.79%、テニスコート37.52%、体育センター79.64%、多目的ドーム63.56%、多目的ドーム会議室17.31%、アリーナ体育館47.62%、会議室27.09%

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)	令和 8 年度 (4 年目)	令和 9 年度 (5 年目)
	計画	実績	計画	実績	計画
収入	指定管理料	207,260	209,500	209,500	214,337
	利用料金収入	54,367	61,488	49,343	62,103
	自主事業収入	4,314	4,916	4,508	5,330
	その他収入	18	22	13	22
収入計	0	265,959	275,926	263,364	281,792
支出	人件費	87,803	94,818	96,423	103,823
	光熱水費	62,633	49,130	42,408	58,574
	保険料	599	612	588	617
	維持管理業務費	83,975	84,159	81,978	84,365
	修繕費	4,774	8,218	6,330	5,466
	事業費	27,483	34,429	31,652	30,710
	消費税及び地方消費税	5,224	6,420	6,115	7,305
	その他の公課費	42	56	38	56
	事業所税	0	0	0	0
	その他	1,659	1,700	1,698	1,758
	支出計	0	274,192	279,542	267,230
差引収支 (収入計-支出計)	0	▲ 8,233	▲ 3,616	▲ 3,866	▲ 10,882
	0	0	0	0	0

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
① 利用料金比率	20.4 %	18.7 %	- %	- %	- %
② 指定管理料比率	77.9 %	79.5 %	- %	- %	- %
③ 人件費比率	32.0 %	36.1 %	- %	- %	- %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	955 円	1,022 円	- 円	- 円	- 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	722 円	802 円	- 円	- 円	- 円
⑥ 外部委託費比率	30.6 %	30.7 %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
調査の実施内容	① 調査方法	アンケート方式(①施設利用者対象・②教室参加者対象)	アンケート方式(①施設利用者対象・②競技団体対象・③教室参加者対象・④室内プール利用者対象)		
	② 調査期間	① 通年 ② 通年	① 通年 ② R7年1月 ③ 通年 ④ 年1回		
	③ 配布数	① 33部 ② 642部	① 34部 ② 26部 ③ 596部 ④ 21部		
	④ 回収数	① 33部 ② 464部	① 34部 ② 22部 ③ 438部 ④ 21部		
	⑤ 回収率	① 100% ② 72.3%	① 100% ② 84.6% ③ 73.5% ④ 100%		
調査結果	①全科目平均は3.3となり、全項目で3.0以上にあたる評価「良い」を受け目標値を達成できた。体育センターのアンケートボックスへの投函が多く回収数は前年度の3倍近く増加した。②対応の親切さが3.70と特に高く、全体で3.67となり目標を達成できた。	①全科目平均は3.5、全項目で3.0以上にあたる評価「良い」を受けた。細かい修繕や器具交換を行い「施設」「設備・備品」項目は前年度より上昇。②前年度には届かなかった全項目で3.00以上の評価を得ることができた。③対象の3項目全てで3.60を超え、親切さについては3.70と高い数値となり目標達成できた。④プール工事期間も運動教室参加を希望する意見が9割近くを締め、教室への関心の高さが伺えた。			

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
令和6年4月16日	東部総合運動場のトレーニングルームに、利用後の器具拭き取りタオルを置いてあるが、コロナ禍の時には、使い捨てのペーパータオルであった。最近、あらためてコロナの流行もみられるため、タオルは使い捨てのものに置き換えて欲しい。	タオルを撤去し、使い捨てのウェットティッシュを室内3カ所に設置し、朝の点検時に随時補充するように変更。購入費用は発生するが、タオルを使用することを生理的に嫌がる利用者が一定数いることにより施設への安心感が減衰することを考慮した。
令和6年5月20日	トレーニングルームのマシンがどれも旧式ばかりなので順次新しいものに代えてもらいたい。故障中の機械の修理も早急をお願いしたい。	故障中の機械は部品供給が終了しているものもあったが、業者相談のうえ異なる部品を代用し修理を完了した。マシンはほとんどが高価で部品申請しても認められないなか、型落ちにより安価で購入できるフィットネスバイクを購入し設置した。
令和6年7月24日	50mプールの一般開放コースを1コース増やして欲しい	50mプールは可動床の故障により通常営業時は5コースを水深2mで固定し、残り5コースは水深1.4mとしている。通常は水深1mコースに仕切り用の鉄柵を設置するが、現状だと水深1.4mコースに鉄柵を設置しても水中に沈むため隣の水深2mコースと仕切ることが出来ず、水深1.4mの第5コース利用者が遊泳中に水深2mの第6コースに誤って侵入する可能性があるため第5コースは利用不可としており、利用者の安全確保のために水深1.4mのコース開放は4コースのまま継続営業するとともに、疑問を持たれる利用者には説明や声掛けを実施した。
令和6年11月14日	プールの水温を上げて欲しい。廊下の温度も上げて欲しい。	温水営業時の水温は概ね30℃を保っており、歩行コースを中心に軽い負荷で運動をする場合は身体が暖まるまで寒(感じる)可能性もあるが、上げ過ぎると遊泳者が暑く感じるため従来通りの水温で運用した。冬場の廊下はエアコンの構造上室温が上がりにくく、屋外扉の隙間の目張りや体育館側への通路のカーテン設置等を行い室温の低下を防ぐよう努めた。
令和6年12月3日	朝の無料水泳教室に参加したかったが定員を超えてしまい参加できなかった。以前も同じことがあったので定員数を増やして欲しい。	教室の定員は15人。これを超えると指導員の目が行き届かず安全管理が難しいため、人気の高い朝の教室を1日2回から3回に増やして最初の教室には入れなかった利用者が、後から行われる教室に参加できるように変更した。

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃・維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	60.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	3	2.8
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	3	3.0
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	3	3.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	3.7
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	3	3.0
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	4	3	3.0
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	5	4	3.8
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	4	3	3.0
配点45点(9項目×5点)		小計	37	28.3

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	2.8
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	2.3
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	2.8
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15
			15	13.9

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	おおむね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	37 点	82 %	29 点	64 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	112 点	93 %	104 点	87 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
5	<p>協定書・事業計画書に定める管理運営はおおむね実施できている。自主事業について、新規4事業開催できたこともあり事業参加人数は目標値達成。また、プロ野球選手やサッカー選手を講師に迎え、小学生や親子を対象としたトップアスリート招聘事業を3事業開催し、現役選手と直接ふれあえる機会を提供することができた。その他、ソーシャルメディアの活用や施設近隣へ年6回のポスティングを実施するなど積極的に事業PRを実施した。事業後のアンケート調査による指導内容評価も好評を得て高い参加者満足度を維持できている。</p> <p>施設管理については、コロナウイルスが一定の収束を見せる中において、更衣室ロッカーや観客席の利用制限を解除しつつ、消毒液設置や職員のマスク着用等は継続し、利用制限解除と安心感を持って使用できる施設提供の両立に努めた。大会・イベント等に関してはチェコ水泳チームの世界水泳強化合宿実施にあたり、2年前の東京五輪前合宿受入の経験を生かして受入体制を整えた。またオリックス・バファローズ秋季キャンプに関しては、(公財)高知市スポーツ振興事業団単体での運営期にあたる平成17年よりキャンプ受入を行っている経験を生かし、設営及びグラウンドコンディションの整備に努めた。また2月からは韓国プロ野球の起亜タイガースキャンプ受入も行った。環境整備に関しては引き続きロードボランティアの実施や施設周辺道路の定期清掃も実施し、周辺環境の美化に努めた。指定管理者として前期と合わせて6年目の運営が任されるが、共同企業体運営経験を生かし、接遇や利用者サービスの向上、安全面や衛生面の強化を図っていく。</p>
6	<p>協定書・事業計画書に定める管理運営はおおむね実施できている。自主事業について、新規事業を4事業計画したことで新たな参加者を獲得することができた。事業参加者数を達成。中でも「ビギナー・初級チャレンジカップ」には、テニス教室の参加者(卒業生)が多数参加されるなど、教室参加者の運動継続と交流の機会を提供することができた。申し込みの少ないものについては施設近隣の幼稚園・保育園へチラシ配布や、対象事業のポスティング・SNSでの案内を積極的に行い事業PRに努めた。また、ポスティングについては今年度19回(内、高知市東部総合運動場周辺9回)実施し、インボディ測定会では直接対象者と話をすることから「投函したチラシを見て来た」と話す方が多く、その効果を感じているほか、令和6年度からは全国健康保険協会高知支部(協会けんぽ)から各事業所への案内に一覧チラシを挟んでもらうなど小学校以外へも広報活動を行った。参加者アンケートでは指導内容の平均満足度が3.68(満点4.0)と目標の3.60を超えており、指導内容についても好評であった。</p> <p>施設管理についてはトレーニングルームのアクリル仕切りを撤去する一方で、器具拭き取り用の共用タオルをウェットティッシュに変更する等、コロナ禍以前の規制が無い運用を求める利用者や、衛生面等の強化を求める利用者の双方へ配慮する運営を行った。これまでプールエリアでの貴重品持込は原則不可だったが、利用者の要望を受けて保護バンド着用やスマートウォッチ持込を認める等、利用者のニーズに応えられる範囲での柔軟な対応を行った。また券売機・両替機のユニット交換を4月に行い、7月発行の新紙幣に即座に対応するなど利便性向上に努めた。老朽化した施設への対応として、部品供給の終了したテニスコート照明コンタインer設備やトレーニング器具が故障した際は後継機種や部品を現地仕様加工して使用し、LED化や機器更新までの長寿命化を図った。オリックス・バファローズ秋季キャンプに関しては、豊富な受入経験に基づきグラウンド整備を行うとともに、前年度までキャンプ補助アルバイトの手配を行っていた斡旋業者が撤退した際は当事業団の就業規程等を改正し、直接雇用及び現場管理を行い、例年通り円滑にキャンプを行うことができた。法改正や社会問題に対応すべく、障害者対応講習会やカスタマーハラスメント対応研修も新たに実施した。10月から開始したネーミングライツ制度では、横断幕設置等の現場対応をしつつパートナーとの連携強化を図り、令和7年度には協力イベントを実施する予定。</p>
7	
8	
9	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
5	協定書・事業計画書に定める管理運営はおおむね実施できている。 目標値に対する達成状況はすべてにおいて目標を超える実績となっている。 施設及び事業参加者の増加、アンケートの回収数の増加が図られているなか、施設利用者や事業参加者からの満足度も高い水準を維持しており、適切な事業実施や維持管理が、利用者の満足度を高めている要因と考えられ、高く評価できる。 また、昨年に引き続き、ロードボランティアに登録し、広い範囲の周辺環境の美化にも貢献出来ている。 今後も、利用者のニーズに対応したよりよい施設運営に努め、更なる集客に向けて取り組んでほしい。
6	本年度は事業参加者満足度や施設利用率など主要指標で目標を上回る成果が見られ、全体として効果的な運営がなされている。特に工事による施設休業という制約の中でも他施設の利用促進などにより、利用者数・利用率の維持向上を図った点は適切な対応と言える。 新規事業による参加者獲得やポスティング・SNS等を活用した広報活動も効果が見られ、地域とのつながりを意識した運営が実践されている。また、トレーニング室へのウェットティッシュの設置等、利用者ニーズに応じた柔軟な施設対応もできている。老朽化設備への工夫、利用者への対応も含め、管理運営面でも安定感があつた。 一方で、工事の影響による収支への影響は大きく、中長期的な収益構造の強化や、一部施設の利用率改善に向けた工夫も引き続き求められる。全体として、利用者視点を重視した質の高い運営が行われており、今後の継続的な改善と発展に期待する。
7	
8	
9	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60.0 点	100 %	A
(2) サービスの質の確認	45 点	28.3 点	63 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	13.9 点	93 %	
合計	120 点	102.2 点	85 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、又はそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	おおむね事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

<p>事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 施設利用者数及び施設使用料収支率は目標値未達成でしたが、事業参加者満足度等は目標値を達成できています。 工事による施設休業はあったものの、他施設の利用促進を行ったことで、利用者数・利用率の維持が図れています。 支出が収入を上回っていますので、収支の改善に努めてください。 引き続き、利用者ニーズの把握に努め、施設全体での更なる利用者の増加につながる取組に期待します。</p>
--

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総評
5	A	105.7 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 事業参加者満足度等、すべての項目が目標値を達成できています。 自主事業のスポーツ教室利用者からのアンケート等をもとに、新規教室を開催するなど、利用者ニーズに対応して、事業参加者満足度が目標値を超えたことが評価できます。引き続き、アンケート調査の手法についてはWEB上で実施する等工夫を行い、更なる利用者ニーズの把握に努め、利用率の低い投球練習場等の利用増加につながる取組の実施を期待します。 情報誌の発行について、仕様書に定める発行期間との差異が見られますので、仕様書に基づいて適切に発行してください。 支出が収入を上回っていますので、業務の再委託先に選定については、競争見積もりを取り入れるなど、経費節減、効率的な運営及び収支改善に努めてください。
6	A	102.2 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 施設利用者数及び施設使用料収支率は目標値未達成でしたが、事業参加者満足度等は目標値を達成できています。 工事による施設休業はあったものの、他施設の利用促進を行ったことで、利用者数・利用率の維持が図れています。 支出が収入を上回っていますので、収支の改善に努めてください。 引き続き、利用者ニーズの把握に努め、施設全体での更なる利用者の増加につながる取組に期待します。
7		点	
8		点	
9		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
野球場防球ネットの経年劣化	令和7年度～	場外打球が多数発生する状況でプロキャンプ時等は危険。ネットの張替工事予算を申請予定(市と協議予定)
野球場バックスクリーンの劣化	令和7年度～	バックスクリーンは白球が識別できるような近い深い色が求められるが、経年劣化により薄い黄緑になっている。プロ野球キャンプで利用する球場としての見栄えの悪さも問題(市と協議予定)
野球場女子便所の洋式化	令和7年度	オリックスキャンプ時に若い女性ファンから和式便所しかないことへの不満が多く寄せられており、対応が求められている。市が今秋に着手予定。
野球場スコアボード更新	令和7年度～	今春よりスコアボード操作不可となる不具合が発生。プロ野球キャンプ時やプレシーズンマッチ等で選手名が表示できない可能性がある(市と協議予定)
多目的グラウンドの地盤沈下及び土層減	令和7年度～	地盤が緩(傾きが生じ、オリックス・バファローズ関係者から苦情が度々寄せられているが、今春より表面土の減少により、碎石層の砂利が出てきている。土を補充して改善できる状況になく根本的改善が必要(市と協議予定)
打撃練習場ピッチングマシンの経年劣化	令和7年度～	備品の購入(市と協議中)又はリース契約等の継続について市と指定管理者との協議(硬式2台・軟式1台)
テニスコート観客席の改修	令和7年度～	一部のみ令和4年度に修理(指定管理者実施)。破損個所多く工事予算申請予定(市と協議予定)。
テニスコート照明のLED化	令和7年度～	テニスコート照明はコイタイム式水銀灯だが、特性上一度消灯すれば20分ほど再点灯しない。前の利用者が利用した後に次の利用者がコインを投入してもしばらく点灯しないという苦情が多数寄せられている(市と協議予定)
体育センター競技備品の老朽化対応	令和7年度～	修理可能なものは修理対応。不可能なものは備品申請(市と協議予定)
体育センター使用料の見直し	令和7年度～	昭和62年に勤労者体育センターとして建設された当時の利用料がベースとなっているため他施設と比較して飛びぬけて安価であり、他施設の稼働の伸び悩みの一因にもなっている(市と協議予定)
ろしおアリーナ雨漏り改善	令和7年度～	改修工事予算を申請予定(市と協議予定)
ろしおアリーナ体育館照明のLED化	令和7年度～	体育館照明のほぼ全てが老朽化による油漏れを起こしており、使用出来なくなってもおかしくない状況。工事予算を市に申請予定。
ろしおアリーナろ過設備の老朽化	令和7年度～	ろ過ポンプ、シーケンサとも老朽化が進み部品交換も困難な状況で、故障即営業停止の可能性あり(市と協議予定)
ろしおアリーナスプリンクラー設備の自動監視	令和7年度～	熱画像センサが故障し補償期間外の機器と交換し運転再開。過去に誤感知による作動があったため予断を許さない状況。
50mプール可動床制御システム更新	令和7年度～	更新予定(市が実施予定)
アリーナ可動式スタンド経年劣化	令和7年度～	ホイルチャンネルタイヤ交換の工事予算を申請予定(市と協議予定)
夏季の50mプール一般利用	令和7年度	可動床の故障により浅い水深コースを用意するには県外業者に発注し多額の作業料を支払う必要がある。過去2年間は水深1.4mと水深2mで固定したため子どもが利用できず苦情が相次いだ。今年度は床転換費用の予算が認められたため大会後に子ども等が利用できる水深0.9mコースを用意できるが、来年度以降も修理実施か床転換費用を支払うか要検討(市と協議予定)
ろしおアリーナトレーニングルーム機器の経年劣化	令和7年度～	故障して使用不可となった機器の一部を中古品購入により対応。新しいトレーニング機器の購入(市と協議中)、又はリース契約等の継続について市と指定管理者との協議
ろしおアリーナトレーニングルーム有料利用者割合の減少	令和7年度～	上記課題を主な要因とする。機器の経年劣化に伴い本格的なトレーニングを行うために新しい設備を求める若年層の利用割合が低下し、有酸素運動を主な目的とする高齢者・身障者の利用割合が75%を超えるまでに。可能な範囲での器具の更新を検討。